

Happy Easter 主のご復活を心よりお祝い申し上げます。

「週の初めの日の夕方、イエスは集った弟子の真ん中に立って仰せになった。『あなたがたに平和』アレルヤ」
 (「教会の祈り」より)

4月13日(金) 司教座聖堂(カテドラル大名町教会) 献堂記念

教区司教が典礼を司式するとき座る椅子を司教座(カテドラ)と言い、その司教座がおかれた教会堂を司教座聖堂と言います。司教座聖堂は教区の母聖堂と呼ばれ、一小教区の聖堂であることを越えて、司教と共に全教区民が集うところ、その献堂記念日は教区の祝日です。福岡教区では、1927年福岡教区設立以来、司教座は大名町教会におかれ、現在の宮原良治司教まで6代の司教の司教座聖堂となっています。現聖堂は1986年4月13日に献堂されました。福岡教区の神の民の発展のため心を合わせてお祈りください。

今年4月15日(日)が「カテドラル特別献金日」です。福岡教区の宣教活動の要であるカテドラルの維持管理のための献金をお願いいたします。

熊本地震から2年

2016年4月14日、16日に熊本・大分地方を襲った地震から2年が経ちます。今もなお悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られる方のために祈ります。すべての人の苦しみを担われ、復活の希望と光を示してください。私たちがあかすことができますように。また、多くの支援、つながりを心より感謝いたします。
 (福岡教区震災被災者支援室)



チャン補佐司教(左)と宮原司教(右)の間で床に伏すイ助祭



チャン補佐司教からパテナとカリスを受けるイ新司祭

使徒ヨハネ イ・ハヌン新司祭誕生

羊を見つけた 一緒に喜んでください

3月21日(水・祝)、使徒ヨハネイ・ハヌン(李韓雄)助祭の司祭叙階式がカテドラル大名町教会にて執り行われた。宮原良治司教が主司式、イ助祭が所属する韓国テグ(大邱)大司教区のチャン・シンホ補佐司教とイ・ムンヒ名誉大司教、約50人の司祭が共同司式した。イ助祭の家族と親族、韓国や司牧実習先の千葉県松戸からの巡礼団約140人を含む、信徒約800人が会場を埋めた。

「諸聖人の連願」が歌われる間、2人の司教はひざまずき、イ助祭は床に伏した。その後、宮原司教が按手、続き、司祭団の一人ひとりが受階者に按手した。司教による叙階の祈りによってイ助祭は司祭叙階の恵みにあずかった。

イ新司祭の両親によって奉納されたパテナとカリスは、チャン補佐司教の手によって新司祭に授けられた。式は新司祭が共同司式者として加わり、感謝の祭儀にうつった。ミサの最後に行われた祝賀式ではチャン補佐司教が祝辞

カトリック 福岡教区報

宮原良治司教認可
 発行所 福岡司教区本部
 福岡市中央区浄水通6-28
 発行 人
 カトリック福岡司教区
 編集人 下町豊重
 TEL 092-522-4059
 FAX 092-523-2152
 振替口座 01760-6-20729
 カトリック福岡司教区
 定価 一部60円

4月の意向

【世界共通】経済活動に責任ある立場の人たち
 【日本の教会】被災者

一新司祭の略歴

1988年韓国テグ(大邱)に生まれ、2007年大邱カトリック大学神学部に入學。09、11年に兵役につき、14年神学を卒業。同年、大邱カトリック神学院大学院修士課程に入學。15年1月、福岡教区に派遣。15年9月、日本カトリック神学院に編入。2017年1月、テグ大司教区カテドラルにて助祭叙階。2018年2月、日本カトリック神学院を修了。



韓国の同級司祭7人からは「サプライズの歌のプレゼント。私のすべては神のもの、捧げます」との歌詞に、イ新司祭の目に涙があふれた。イ新司祭は叙階記念カードに記された「一緒に喜んでください。見失ったわたしの羊を見つけたから」(ルカ15・6)に触れ、挨拶。「辛抱強く見つけてくれた主がいて、見失われた一匹の羊であ

ある養護施設で「みなしごたちは さみしく 捨てられた人に友がない」という典礼聖歌を歌っていた時、一人の子どもが言ったという。「これは僕のことを言ってるんか。これって、おかしくないですか?」

以前からこの歌を歌う時、違和感を感じていた私は、これ聞いたときに腑に落ちるものがあった。

私たちがいとも簡単に「小さい人」と口にしていく。しかし、特に不自由なく生活している私たちが、ある困窮の状況にある人や、不如意な状態にある

3月28日(水)、カテドラル大名町教会で聖香油ミサが行われた。宮原良治司教と55人の司祭と共にミサを捧げた。司祭叙階60年、50年、25



司教と共に祭壇を囲む叙階60年、50年、25年を祝う司祭たちと3種の香油(手前右)

聖香油ミサと司祭職制定の祝い

キリストのうちに交わり一致

動しました。感謝します。司祭として険しい道もあるかと思いますが、神の御手の中で歩んでいってほしいです。「小さいときから他の人と違い、目標を定め、責任をもってそれを果たそうとする子で

人々を「小さき者たち」と呼ぶのは非礼な事であろう。本田哲郎師は言う。「小さい者をみんなで助けてあげよう」と歌う私たちは何様か。人のことを「小さき者」と言うけれど、その人たちが小さくしているのは私たちではないか」と。イエスが「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは私にしてくれたいこと」と言われるとき、イエスご自身が「大きな者」であつたにもかかわらず、自ら「最も小さき者」となられたのではないか。だからこそ、そのような私とつながってほしいということではないか。

年を祝う3司祭(教区報3月号参照)が祭壇を囲んだ。司祭職制定の記念でもあるミサの中で、司祭団は叙階の約束の更新を行い、神と人とに仕えるため、より一層、主イエスと一致しキリストに従う決意を新たにされた。

宮原司教は説教で、交わりと一致の大切さを述べ、画一化ではない多様性の一致を説いた。また、キリストを仰ぎ、神の恵みを受けて、司教と司祭団が一つになるように、司祭団と信徒が一つになるように、祈りを捧げるよう会衆を招いた。

した。日本で奉仕することに よって視野を広げ、多くの事を経験し、その恵みを韓国の教会にも分かち合っている「です」などと語っていた。

イ新司祭は大名町教会の協働司祭として任命を受けた。

森山信三神父 (福岡コレジオ院長)

☆4月の教皇の祈りの意向は「経済活動に責任ある立場の人たち」。「排他主義に反対する勇気を持つ、新しい道を切り開くすべを見いだすことができよう」と祈る。私たち一人ひとりも、福音に満ちた経済活動の構築のために祈り、「小さき者」として歩もう。(編集部)

みちくさ

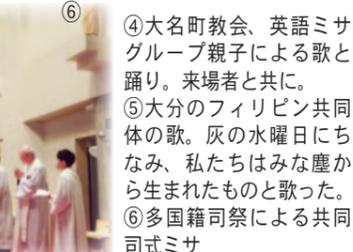
近くの温泉に行った。あれこれ考えながら湯船につかっていると、周りが急に騒がしくなった。ふと見ると、一人の高齢者がのぼせたらしく、数人がかりで湯船から引き揚げられた。抱え上げてくれた一人の背中には「龍」の入れ墨が彫ってあった。その人は「大丈夫ですか?」と声を掛け、椅子にゆっくりと掛けさせてくれた。それだけでなく、余分に持っていたタオルを差し出し、「これを使ってください」と本人に渡した。本人はうつろな目をしながら、「ありがとう」と小声で感謝した。近くの人たちも声を掛けたりして本人を気遣っていた。とっさの救助で一命をとりとめた本人の喜びは湯のようにふつふつと湧いてきたことだろう。「よかった、助かった」。しかしながら、入れ墨をしていた人の行動には驚いた。やさしさと親切心がみなぎっていたからだ。人を容れ判断してはならないと肝に銘じた。私たちは偏見をもって人を見てしまうところがある。注意しなければ主イエスはどんな人にも一様に関わってくださった。周りの人が軽蔑し、近づかなかつた人でも、自らが近寄り、声を掛け、触れられた。どのような人も神から送られたのである。神はどんな人でも大切に思っておられる。それなのにどんな人からも離れようとしてしまう私たちは、神の目にとって喜ばしい存在ではない。さあ、価値ある仲間を探しに行こう。離れてしまっている兄弟姉妹に声を掛けにいこう。そして「再生の湯」で一緒に温まろう。「あなたはずべてを愛おしんでおられる」(知恵の書11章)。(S)

International Mass 国際ミサ2018

2月25日(日)、カテドラル大名町教会で国際ミサが行われた。ミサに先立ち、各国のプレゼンテーションで主を賛美した。福岡教区内の他、大分からも参加。約300人(15国籍)の笑顔が会場にひろがった。



①スリランカの踊り。テーマは「Offering(奉納)」。②ベトナム共同体によるベトナムの歌「私たちはキリストにあって一つ」。日本語を交えて歌った。③フィリピンのミンダナオ、バゴボ族の踊り。米の収穫時の踊り。



④大名町教会、英語ミサグループ親子と共に。⑤大分のフィリピン共同体の歌。灰の水曜日になみ、私たちはみな塵から生まれたものと歌った。⑥多国籍司祭による共同式ミサ

One Heart in Christ ひとつの心 キリストのもとで

主催の社会福音化委員会・難民移住移動者部門の担当司祭P・ジュード神父(オプレート会)はミサの説教の中で、多様性を活かし、一つの群れとしてキリストに従おうと呼びかけた。また、一つになるためには4つのT(Test 試練 Trust 信頼 Thanksgiving 感謝 Testimony 証し)が大切だと説いた。

2月18日(四旬節第1主日)、久留米教会にて、船津亮太神学生(久留米教会出身)の祭壇奉仕者選任式が宮原良治司教によって行われた。宮原司教はミサ中の朗読個所に触れ、「福音では、イエスが荒野で悪魔の誘惑を退



宮原司教(左)と共に奉仕する船津神学生(中央)

祭壇奉仕者・朗読奉仕者選任式 奉仕者として相応しく準備し歩む

「回心を訴えながら宣教活動を始めるところが語られている。旧約聖書によると、モーセに導かれた民は無事に紅海を渡り、荒野での40年間の放浪の旅をする。神は民を常に見守り、最終的にはいつくしみによって約束の地に導くのである。いつくしみ深い神を忘れず、聖霊の導きによって復活の喜びを迎えることができるようにしよう」と語った。船津神学生には、「祭壇奉仕者の役割について相応しい準備をし、聖体を授与するときは厳格な態度をもってその役割を果たすように」と諭した。式後は隣接している聖母幼稚園の大ホールに場所を移し、喜びの祝賀会が催された。(報告||平田文夫)



ひざまずき聖書を受ける古市神学生

2月25日(四旬節第2主日)、浄水通教会で古市匡史神学生(浄水通教会所属)の朗読奉仕者選任式が宮原良治司教司式で行われた。式には浄水通教会をはじめ、茶山教会信徒やベトナム人共同体の信徒らが参列した。聖歌、共同祈願、奉納などの典礼の役割は神学生に関わっている共同体が果たした。宮原司教は説教の中で、「キ

長崎カトリック神学院 卒業式

2月28日(水)、長崎カトリック神学院(長崎市)の聖堂にて小神学校の卒業式が高見三明大司教(長崎教区)の司式で行われた。本年の卒業生(高校3年生)は福岡教区今村教会出身の萩原篤志さんと、長崎教区太田尾教会出身の森翔真さんの2人。式の中で高見大司教は「卒業おめでとう。将来司祭になる為の、大切な基礎となる土台作りの過程の中で、人間として、キリスト信者として、将来、牧者になる者として肉体的にも精神的にも大きく成長していただく」と励ましの言葉を贈った。会食の初めに宮原良治司教は、福岡教区からの5人の神学校生活に感謝の意を表した。卒業生には「この6年間を振り返ると楽しいこと、辛いこと、悲しいことなどあったと思います。そのような出来事を通して、神様が導いてくださった計らいに感謝することができたのではないのでしょうか。神様は裏切ることはありません」と伝えた。

福者小笠原玄也一家の殉教を記念して 花岡山にて「早朝の祈りの集い」



小笠原玄也一家(画:三牧樺子)

1月30日は福者小笠原玄也一家の殉教記念日。花岡山殉教者墓地で「早朝の祈りの集い」が行われた。先に、熊本市各地から司祭・修道女・信徒約30人が殉教の地、禅定寺に集合し、住職最勝林佑信和尚の計らいで置かれていた殉教者の位牌の前で焼香した。その後、徒歩で約2キロの行程で山道を登り、花岡山の殉教者の眠る墓地へと巡礼した。この間口ザリオの祈りを唱えながら進む行列には、母親に手を引かれ寒い山道を登る幼い子どもたちの姿もあつた。朝6時、禅定寺からの巡礼者全員が殉教者墓地に到着し、これより「早朝の祈りの集い」が始められた。これには市内各地より約50人が加わった。殉教者の墓前で、島崎教会主任司祭A・トゥルコ神父(聖ザベリオ宣教会)によって神のみ言葉が厳粛に朗読された。続いて、迫り来る殉教を前にしてしたためられた福者マリアみやの遺言書が粛々と読み上げられた。この中で「私は、この信仰を捨てられませんが、この信仰を覚悟してこの「証し」は、朗読されたみ言葉と呼応して、ここに集う参列者一人ひとりの心に響き合うものとなった。最後に、殉教者たちの信仰の「証し」の光に照らされながら、心を一つにして殉教者への取次の祈りを唱えた。(報告||高木光行)



卒業式後の記念撮影

お世話になった司教、学校のスタッフ、在校生、家族に囲まれ、和やかな雰囲気の中で、2人は見送られた。萩原篤志さんと森翔真さんの2人は共に福岡コレジオに進学する。(報告||萩原悦道)

訃報

ヨゼフ 牧山 田一 神父 (鹿児島教区)



3月19日、急性心不全のため帰天。享年85。司祭生活57年。1932年佐賀県馬渡島生まれ。52年に福岡サンシルピス大神学院入学。61年に馬渡島教会で司祭叙階。その後11年間を福岡教区司祭として久留米、健康教会で司牧。72年に鹿児島教区へ移籍。朴訥な人柄で、小教区、司教館、南九州神学院等で奉仕した。

殉教祭に出かけよう

- 福者ベトロ口岐部と187同志殉教者の列福から10年。先人たちの信仰の遺産を思い巡らし、信仰生活の糧としてみませんか。福岡教区内の2018年度の殉教祭、殉教者顕彰行事は以下の通りです。
- ◆福者荒川アダム殉教記念ミサ(日時) 6月3日(日) 14時(場所) 熊本県天草市・本渡教会(問合せ先) ☎0969・42・0015 崎津教会
- ◆不動山殉教者祈念祭(日時) 11月4日(日) 14時(場所) 佐賀県嬉野市「不動ふれあい体育館」(問合せ先) ☎0952・23・475 4佐賀教会
- ◆八代殉教祭(日時) 11月25日(日) 14時(場所) 熊本県八代市「列福記念公園」(問合せ先) ☎0965・32・4065 八代教会
- ◆福者小笠原玄也一家殉教記念日(日時) 2019年1月30日(水) 午前5時(場所) 熊本市・島崎教会集合(問合せ先) ☎096・352・5610 島崎教会

聖霊のマリア

吉武 久美子 修道女 (女子既足カレル修道会) 3月7日に帰天。享年90。修道生活65年。

フランシスカ・マリア

中山 和子 修道女 (けがれなき聖母の騎士 聖フランシスコ修道女会) 3月12日に帰天。享年99。けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会の初代会長を務めた。

ノエミ

亀崎 善江 修道女 (聖母訪問会) 3月17日に帰天。享年95。修道生活71年。

【月例黙想会】
期日: ①4月21日(土)17時~22日(日)15時
②5月12日(土)17時~13日(日)15時
指導者: 染野治雄 神父(御受難修道会)
費用: 8,700円(税込・指導料含む)
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで
◆詳細はお問合せください

【奉獻生活者のための黙想会】
①5月19日(土)夕~26日(土)朝
②6月23日(土)夕~30日(土)朝
③7月21日(土)夕~28日(土)朝
指導: ①②来住英俊神父 ③染野治雄神父
費用: 5,600円

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

ミサ用ワイン

ヴァノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

教区ハラスメント防止基本宣言及び規程施行 弱者を守る教会共同体の建設

「宗教法人カトリック福岡教区ハラスメント防止基本宣言」(以下「基本宣言」と「規程」)が2018年3月23日の同司教区責任役員会において承認され、同日より施行されることとなった。(「基本宣言」と「規程」は教区内の小教区と修道院、カトリック学校、社会福祉施設に通知文書を送付。教区ホームページにも掲載。)

1990年代に米国の教会で聖職者による子どもへの性虐待問題が明るみになり、日本の司教団も2002年6月に「子どもへの性的虐待に関する司教メッセージ」を採択し発表。日本カトリック司教協議会は2013年3月に「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのマニュアル」を発行し、各教区が体制を整え、より具体的に対応していくように呼びかけた。これを受け、福岡教区では

2014年から準備を進め、2017年8月に「ハラスメント対応第三者委員会」を立ち上げ、「基本宣言」と「規程」を審議してきた。

「基本宣言」では福岡教区は「キリストが望まれる教会共同体」の建設を目指し、「弱者の側に立つキリストの生き方に徹底的に従う教会のありかを見えるものにしていく努力をする」と宣言。カトリック教会においても「あらゆるハラスメント、特にセクシュアル・ハラスメント等の人権侵害が起こりうる可能性」があることを認め、教会特有の関係の中で権力濫用や人権侵害が起こらないよう、教区として防止と対策の実施に努めることを明記。

喜びの創立50周年

一鹿島カトリック幼稚園 佐賀県鹿島市

一年間の行事をすべて創立50周年記念行事として捉えてきた鹿島カトリック幼稚園(理事長=平田敬神父、園長=マネルバ・ロレンソ神父)は、締めくくりとして2月28日に保育参観と講演会を行った。参観した保護者はわが子の懸命な姿に心を打たれ、「この幼稚園に入れて本当に良かったです。やさしさや物事への積極性が培われました」などと話していた。その後、ホールに集まった保護者に対して、園長マネルバ神父が「神様の愛と皆様と地域の方の支えによって創立50周年を祝うことができました」と挨拶した。講演会では、演壇に立った下町豊重神父(前福岡教区幼児教育連盟会長・佐賀カトリック幼稚園園長)が、「愛のカトリック幼稚園」と題して、神の注がれる愛について話し、お得意の紙芝居や腹話術を交えて会衆を魅了した。保護者会会長島洋平氏は「この一年、創立50周年の記念すべき行事に携わることができて幸せでした」と語っていた。

尚、鹿島カトリック幼稚園は1968年1月に深堀仙右衛門司教により祝別され、4月に開園した。初代園長はルッチ・ミケレ神父(ミラノ外国宣教会)で、現在は8代目園長としてマネルバ・ロレンソ神父(同会・1994年から)が務めている。これまで2200余人の卒園児を輩出した。



3月6日(火)、啓蟄の日、熊本県阿蘇郡西原村でNPO阿蘇の拠点となる建物の起工式がH・オカロー神父(聖コロンバン会・八代教会主任)の司式で行われた。

熊本地区カトリック女性の会や教区災害被災者支援室がつながり支援してきたNPO阿蘇(代表理事 加藤義明)。「復興から自立へ」をスローガンとする。建物は農家の方々、孤立しがちな高齢の被災者の方々が作業のできる作業場、憩いの場、保存食の貯蔵庫などを備える予定。起工式には熊本地区の信

熊本 西原村にてNPO阿蘇の起工式 地震から2年 希望の芽生え

者、西原村の仮設住宅で支援活動するプロテスタントの信者、くまセン(カリタス福岡・熊本支援センター)関係者など45人ほどが参加した。

起工式の後には、近くの被災した料理屋さんで会食。「多くが失われ、目の前は真つ暗だった。そんな中で、皆さんから生きる希望、夢をいただきました。これからも見守っていきましょう。そしてお力添えをお願いいたします」と加藤さんは挨拶した。

☆関連記事がカトリック新聞4月1日号(4428号)に掲載されています。



黒崎教会小聖堂にて祈りをささげる参加者ら

黒崎教会 11祈りの会 東日本大震災 祈りの灯のりれい

「11祈りの会」は東日本大震災から2ヶ月後の2011年5月に援助修道会黒崎修道院(2014年12月閉院)のシスターが始めた。同年11月から信徒たちも加わり、修道院閉院後は信徒有志によって祈りの会がまもられてきた。

毎月11日に最も近い日曜日に集まり(行事がある時はお休み)、担当者が準備した内容(DVD鑑賞、詩編の祈り、十字架の道行きなど)をもとに祈り、分かち合う。

会が始まった頃は遠隔地からの参加者も含め、約20人が集っていたが、最近では8人程に減少。メンバーの高齢化もあり、2018年3月11日の会で幕を閉じようとしてい

①教区内に在住する司祭、修道者、信徒、②福岡教区の職員、③洗礼を受けていないが、福岡教区内のカトリック教会(小教区)に関わっている者、④福岡教区が認可するカトリック学校の関係者、⑤福岡教区内のカトリック社会福祉施設利用者及び関係者。

カトリック福岡司教区
セクシュアル・ハラスメント
相談窓口
☎ 080・2694・4182
＜相談窓口受付時間＞
月曜日～金曜日(祝日を除く)
10～12時、13時～16時
秘密は守られます。
安心してご相談ください。



建設資金へのご協力
ありがとうございます
菅丘教会(元教会建設委員)
島山 真理男

2011年9月、菅丘教会の2代目の聖堂が落成しました。そして、1年半の猶予の後、2013年2月から福岡教区への5千万円の返済が始まりました。年に2回返済し、1世帯当たり年間5万円を10年間負担する計画でした。しかし、その負担に耐えられな

たところ、「震災のための祈りのりれい」の会場となった。この日は12人が集った。

参加者の一人は「いつかは閉会するとわかってはいたが、寂しい。会を始められたシスターの方に申し訳ない気持ちもある」と語る。

い方々がいることを把握していただきましたので、5月のバザーに加え、12月にも小規模ながらクリスマスバザーを行いました。さらには、福島支援で結成されたファミリア合唱団をこのままでは解散したくないとの思いから、2月頃にはチャリティ・コンサートを行ってききました。このバザーやコンサートには、ほかの教会や周辺に住んでいる方々が訪れてくださり、ご寄付があったことで支えていただきました。この結果、2018年2月に5回分早く全額を返済することができました。ご協力を頂いた皆さん、誠にありがとうございます。

◆原稿は4000字以内
◆投稿先・福岡カトリック司教館 教区報係り宛
FAX 092・523・2152
Eメール cat-kouhou@nifty.com

3月24日(土)、カトリック福岡司教区立のマリア子ども家(園長 松川明子修道女)の新築園舎祝福式が宮原良治司教の司式で行われた。

教区内初の企業主導型保育事業(福岡教区報2017年11月号で既報)。水巻町長、町議会議員が臨席。地域社会も注目する。キリストの福音を軸に、子どもたちを安心して育てられる環境を提供し、地域に貢献していただけるよう、祈りが捧げられた。



祝福式後に披露された保育室

☆「愛のまちー夢旅日記」漫画で読む長崎クリシタン史 西岡由香著
価格2000円＋税

16世紀以降、キリスト教の宣教師が長崎に伝えた「愛」を軸に、クリシタンの伝来から迫害を経て信仰を取り戻す歴史を描いた漫画。
長崎文献社発行
税込価格1944円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

神のいつくしみをさらに生き、広めよう!

案内板

会合と催し

4月のこよみ

カトリック福岡教区 セクシュアル・ハラスメント相談窓口 開設

「カトリック福岡教区ハラスメント防止基本宣言」「カトリック福岡教区セクシュアル・ハラスメント防止及び被害者支援に関する規程」が3月23日に施行されました...

相談窓口 ☎080・2694・4182

月曜日～金曜日(祝日を除く)10～12時、13時～16時 秘密は守られます。安心してご相談ください。

世界召命祈願の日 2018年4月22日(日) 「主の呼びかけを聞き、識別し、生きる」

第55回「世界召命祈願の日」教皇メッセージで教皇は「一つひとつの召命は、個人としても、教会としても、多様で比類のないものであり、わたしたちは天から呼びかけているそのことばを聞き、識別し、生きなければなりません...」

福岡地区青年会 新青年歓迎会

進学、就職、異動などで福岡教区の新しいメンバーになった青年を歓迎します!福岡地区の楽しい青年会に興味をお持ちの方、ぜひご参加ください☆出し物をしてくださる方も募集しています!

日時:4月15日(日)18時～20時 場所:カトリック大名町教会 1階講堂 対象:福岡教区内にお住まいの青年(18歳以上、未婚)...

福岡地区カトリック女性の会 第35回総会

講演テーマ:恵みを生きる

日時:4月21日(土)10時～(受付9時より)10時 総会/12時50分講演/14時50分ミサ 場所:カテドラル大名町教会 1階講堂 講師:平野哲也神父...

教区宣教委員会 エキュメニズム部主催 講演会「カルト新天地について」

日時:4月22日(日)14時から 場所:カトリック大名町教会 1階講堂 講師:岩崎一宏牧師(八幡キリスト教会)...

福岡教区第53回クルシリヨ開催

信仰を考え、祈りの時を持ちませんか!

日時:5月3日(木)10時～5日(土)15時 場所:福岡黙想の家(宗像市名残1056-1) 参加費:16,000円(宿泊、食事、事務用品等含む)...

福岡教区広報室アドレス http://fukuoka.catholic.jp E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

福岡黙想の家ご案内 4月

2日(月)～6日(金) オブレート会 21日(土)～22日(日)月例黙想会(募集中) 27日(金)～30日(月)日本心身医学協会【5月】...

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ:優れた祈りを手本にして 日時:4月12日(木)10時～15時 内容:聖フランシスコ・ザビエルの祈り 指導者:ダニエル・マルケット神父(聖ザベリオ宣教会)...

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時:4月7日、21日、5月5日、19日 10時～11時45分 場所:カトリック大名町教会小聖堂

- 1日(日) 復活の主日 ↑J.クレハン(2008年 荒尾教会) 2日(月) 使徒職協力者の集い 3日(火) 花祭り寺院表敬訪問(～4日) ↑A.アレグリーニ(2006年 ロザリオの園)...

福岡

- レジオナリエ福岡クリア(日時)4月8日(日)14時～16時(場所)高宮教会指導 D.ジョンソン神父(カプテン・フランシスコ修道会/高宮教会主任)(問合せ)☎090・9654・9969日吉 震災のための祈りのリレー(日時)4月11日(水)ミサ7時から・夕の祈り(テゼの祈り)19時から(場所)浄水通り教会(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)...

熊本

- カルメル在世会集會(日時)4月16日(月)10時半から(場所)福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容)ミサ・講話「三位一体の聖エリザベット」(指導)九里彰神父(カルメル会)(問合せ先)☎095・828・2350 鶴池 福岡召命を共に祈る会(日時)4月17日(火)13時半から(場所)大名町教会(内容)ロザリオと分かち合い(問合せ先)☎092・921・4532山口 グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)4月17日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)復活節のグレゴリオ聖歌ミサとベネディクション(問合せ先)☎096・380・5686 聖書に集う会(日時)4月18日(水)14時～15時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合せ先)☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)...

北九州

北九州召命を共に祈る会(日時)4月12日(木)14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合せ先)☎0949・24・9905 藤井 小倉祈りの集い(日時)4月27日(金)13時半～15時(場所)小倉教会信徒会館 2階(指導)牧山勝美神父(内容)みことばを味わう・賛美と感謝の祈り(問合せ先)☎090・3985・5209 松田

司祭人事異動

イ・ハヌン師(新司祭)大名町教会協働(3月21日付) 西新カトリック幼稚園副園長(3月30日付) ガブリエル・プレシト師(御受難修道会)(御受難修道会宗像修道院)教区外へ(宝塚修道院へ)(3月19日付) ホセ・メディナ師(イエズス会)(イエズス会福岡修道院)教区外へ(東京ロヨラハウスへ) 塩谷恵策師(イエズス会)(イエズス会福岡修道院)教区外へ(広島・長束修道院)

編集後記

主のご復活、おめでとうございます。教区報も刷新して参ります。乞うご期待。

メモリーホール 人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は 業院・油山・野芥・小田部・今宿 馬出・南福岡・大野城・飯塚 市民葬儀・法事相談センター 六本松店・赤坂店 福岡メモリー(後援) 0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 医科・歯科臨床研修指定病院 地域医療支援病院 救命救急センター 総合周産期医療センター がん診療連携拠点病院 地域災害拠点病院 *入院基本料(一般病棟7:1) 〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422 TEL0942-35-3322(代表) FAX0942-34-3115 http://www.st-mary-med.or.jp

使徒パウロ宣教の地ギリシャ巡礼9日間 期間:2018年8月16日(木)～24日(金) 旅行代金:469,000円 同行司祭:下町豊重神父(佐賀教会) 青木悟神父(福岡教区事務局) 最小催行人員:20名様予定(最大25名様) 問合せ・申込み:(株)阪急交通社 九州団体支店 ☎092-761-8833担当 武市・宮原

キリスト教書籍・用品 お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ! http://www.paulus.jp パウルスショップ メディアによる福音宣教のために... サンパウロ福岡宣教センター 10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930